

再読『原三溪翁伝』 —絵画、漢詩、書から垣間見る箱根別荘生活の一端—

発表者：藤嶋会員

三溪園の三溪記念館で5月に原三溪筆の絵巻物《二日遊關記》が展示されました。そこに自筆で書かれた漢詩と、「三溪集」に収録されている同じ漢詩を比較し、漢字が一致しない箇所が見つかったことが報告されました。いくつかの情報を照合したり、原典に当たることの要性が再確認されました。



絵はがき第2弾・製糸場編

「原富岡製糸所の絵はがきからみえること」

発表者：小島会員、速水会員



小島会員と速水会員の所蔵する絵はがきから、原合名会社が経営していた頃の富岡製糸所の様子が紹介されました。当時の史料からは、産繭品評会の様子がつぶさにかがわれます。明治6年には、英照皇太后と昭憲皇太后が富岡製糸所に行啓され、その時の御歌が錦絵に描かれています。